

岐阜県「日本一の航空宇宙産業クラスター形成を目指す生産技術の人材育成・研究開発」

- アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区に位置し、当産業が集積(事業所・従業員数:全国2位、製造品出荷額:全国3位)
(H29年度工業統計)
- 航空機市場の世界的な拡大に対応するため、高品質・低コスト・短納期を可能とする自律生産によるサイバー・フィジカル工場の実現に向けた、人工知能やロボティクスの研究開発を新たなオープンイノベーション拠点として整備する岐阜大学「航空宇宙生産技術開発センター」において行う(研究者の半数は、今後法人統合する名古屋大学や川崎重工等の外部から登用)。
- 当産業の統合スキルを有する「生産システムアーキテクト(生産技術者)」の育成を高専との連携や学部大学院一貫教育、リカレント教育等により行う。これにより、生産性向上による競争力強化を実現し、若者が集う日本一の航空宇宙産業クラスター形成を目指す。

【事業概要】

事業推進 航空宇宙生産技術人材育成・研究開発プロジェクト推進会議

拠点 岐阜大学航空宇宙生産技術開発センター

人材育成事業

- 航空宇宙産業生産システムアーキテクト人材育成事業
- 地域企業のレベルアップを目指したリカレント教育人材育成事業



講師派遣や教材提供等

研究成果

事業責任者：並木祐之

川崎重工航空宇宙システムカンパニープレジデント

研究代表者：山本秀彦

岐阜大学工学部機械工学科教授

国内外トップレベル人材

ワシントン大学ボーイング先端技術研究所
メリーランド大学オートメーションリサーチセンター
慶應義塾大学ハプティクス研究センター

研究開発事業

- ロボティクス&コントロール研究開発事業
 - データサイエンス&人工知能研究開発事業
- 巨大な航空機をロボットが自律的に生産するサイバー・フィジカル工場を実現



学生・教員の参画
共同研究等

融資(研究成果導入)
大学と企業のマッチング

【産業界】

大手航空宇宙企業(川崎重工、ナブテスコ)
航空宇宙産業関連中小企業(川崎岐阜協同組合等)

【地方公共団体】

岐阜県、各務原市など関係市町村
県研究開発財団等

【大学・教育機関】

名古屋大学
岐阜工業高等専門学校等

【金融機関】

大垣共立銀行
十六銀行

【世界トップレベルを目指す分野】

- ◆ 先進的な生産システムを構築できる人材の輩出
- ◆ 当産業生産技術に関する世界最先端のロボティクス、AI、IoT技術による全自動生産システム

【魅力ある大学への組織改革】

- ◆ 理系学部の横断的な再編
- ◆ 東海国立大学機構(仮称)平成32年度
- ◆ 経営学部(仮称)の設置 平成33年度

本計画における主なKPI

・航空宇宙産業の製造品出荷額 (H29:2,678億円→H39:5,322億円)
・航空宇宙産業の雇用者数 (H29:8,088人 →H39:10,088人)

・生産技術人材育成プログラム受講生の地元就職・起業数累積 (H29:0人→H39:216人)
・生産技術人材育成プログラムを受講する高専生・社会人技術者数累積 (H29:0人→H39:105人)